

しろうや！広島城

創刊号

夏

発行／財団法人広島市文化財団 広島城
 〒730-0011 広島市中区基町21-1
 電話 082-2221-7512
 FAX 082-2221-7519

創刊の「おとこ」

みなさんが住んでいるまち、「広島」の始まりは、今から四一五年前、毛利輝元が太田川デルタへ「広島城」を築き始めたときにさかのぼります。以後営まれてきた歴史の上に今の「広島」があるのですね。

そこで、みなさんが広島城や郷土の歴史により関心を深め、愛着を持ってお城に足を運ばれるきっかけとなるように、広報紙「しろうや！広島城」を刊行することにしました。季節ごとに、広島城の催しや、広島
 の歴史・文化に関する情報などをご紹介していきます。ご期待下さい。また、みなさんのご感想やご質問な
 どもお待ちしております。

夏の企画展

日本お城コレクション

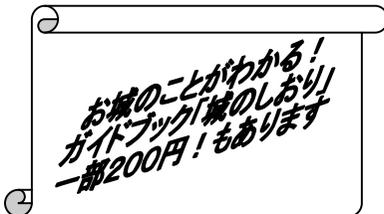
平成16年7月3日(土)～8月29日(日)

日本各地のお城のことを知ってみよう！
 でも、難しく考えないでね

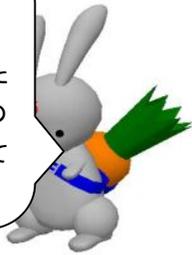
この夏、広島城では、「日本お城コレクション」と題して日本各地にあるお城を紹介しています。「いまからお城について調べてみようかな」という方にもおすすめの46城を、お城の写真・古絵図のパネル、入場券や各種カード類などにより紹介します。気軽に
 お城について学んでみませんか？



▲まずはこちら！
 広島城にきてくださいね。



▼これは、広島藩主がお城や合戦の「勉強」をするために作られた絵図です。全国各地のお城がとりあげられています。



あさのぶんこ 浅野文庫 しょことうじょうのず 諸国当城之図 あまひろしま 安芸広島
 写真提供：広島市立中央図書館



広島城はかせ！

「こは、「広島城はかせ」が
 広島城や城下町の「ことなど」、
 みんながふしぎに思っている
 お城や歴史の疑問に答える
 コーナーじゃ。
 さあなんでも
 聞いて「じやれ！
 今回の質問はこれ！

問1 「なぜ広島城がここに建てられたの？」

広島城を建てた毛利輝元もつりてるもとの城は、郡山城こおりやまじょう（広島
 島の北西、現在の安芸高田市あきたがたし）という、山の上にある
 城でした。しかし、毛利氏が強くなって中国地方を支
 配する大名になったため、場所も不便で狭くなりま
 した。そこで、天正一七年（一五八九年）、新しい大き
 な城を作ることにしました。今で言うところと町工場の
 経営者けいえいしやが大もうけして、場所を移してもっと大きな工
 場を作ったようなものですね。

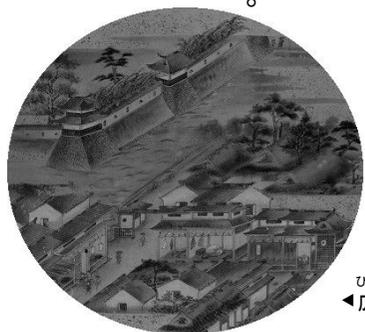
広島に城を作った理由は、広い土地があり、交通の
 便がよかったからです。けれども、広島城を建てた直
 接の理由は、毛利輝元もつりてるもとが、
 豊臣秀吉とよとみひでよしが作った当時最先
 端の城だった聚楽第じゅらくだい（京都）
 と大坂城に行き、これらの
 城を真似て当時まだ珍しか
 った平地に作るうとしたか
 らと言われています。今も昔も、
 時代の流行には敏感びんかんな
 のですね。

みなさんからの
 ご質問もお手紙
 ・ファックスで
 どうぞ！はかせ
 に伝えます



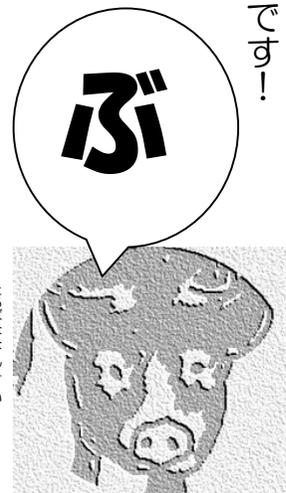
城下町にはブタがいた!

城がつくられると、それを中心にして商人や職人が住む町がつくられました。このよ
うな町を「城下町」と言います。
広島城の城下町も築城と同時に建設され、現在の広島街の基礎になっています。



ひろしましょうか えびょうぶ
◀広島城下絵屏風に描かれた城下町。八丁堀あたりです

さて、広島城下町は、江戸・大坂・京都についてにぎやかだと言われている、人口も多く栄えていたが、現在に比べれば自然が多く残り、いろいろな動物が姿を見せていました。その中に、実は…ブタもいたのです!



江戸時代後期に広島を訪れた橋南谿というお医者さんは、著書「西遊記」の中で、「京などに犬がいるように家々町々の軒下にブタが多くいる。他国では見られない珍しい光景だ」と書いています。当
時でもブタが普通に町中にいるのは珍しかったようです。そもそもこの頃ブタを食べるというこ
とは一般的ではなく、広島でも食用の家畜として飼育するという習慣はなかったようです。では、なぜこ
のようなことになったのでしょうか?

これらのブタは、朝鮮の国王が江戸幕府に送った使節(朝鮮通信使)が広島を通過した時の食料用として長崎から仕入れられたものだった、と考えられています。で、残ったブタは次に通信使が来る時に備えて生かすことになったのですが、なぜか城下町に放されてしまったようなのです。天和元年(一六八一)通信使が来日、その翌年に藩から「ブタに触ることを禁ずる」お触れが出ています。ブタにかまうなどというお触れがわざわざ出ているところを見ると、この時に初めてブタを城下に放ったのかもしれない。町を歩くブタは城下の人々にはさ

ぞ珍しかったことでしょうね。

やがてブタたちはどんどん子どもを産んで増えていきました。特にエサが与えられたわけではなかったので人家の食物を荒らすようになり、当然ながら苦情続出! そこで藩は、貞享二年(一六八五)ブタ狩りを行って百頭以上を捕まえ、一部を残して周辺の島々に捨てに行きました。島の人々には迷惑だったでしょうね! その後城下町のブタは目立って数は増えませんでした。文化年間(一八〇四〜一八一八)ごろまでは姿が見られ、そして江戸時代の終わりにはいなくなったようです。なぜいなくなったのか?… 食べちゃったのかな?

当時の目撃談によると、黒ブタで毛がはげいていたようです



このコーナーでは、広島に関するこぼれ話や、お城についてのミニ知識などをご紹介します。お楽しみに!

ぜひご存知ですか?

広島城の中は、「城下町広島の発展と暮らし」をテーマにした資料館となっています。

何が見れるかな?ここではもう書ききれませんからぜひお城にいらしてごらんください。

次回からお城の中にあるものも少しづつ紹介しますね。



開館時間
9:00~17:30 (4月~9月)
9:00~16:30 (10月~3月)
観覧料
大人 320円 小人 160円
休館日 年末年始(12/29~1/2)